

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報	【化学品の名称】 製品名: スーパーインバー合金 鋳鋼品、鍛鋼品、圧延品(板、シート、棒、線、箔) 【提供者の情報】 会社名 新報国マテリアル株式会社 住所 埼玉県川越市新宿町5丁目13番地1 電話番号 049-242-1950(代表) FAX番号 049-245-8852(代表) 担当部署 研究開発部 担当者 小奈浩太郎 電話番号 049-242-1955 FAX番号 049-242-1967																																			
2. 危険有害性の要約	一般的な環境下では現在のところ危険有害性に関する有用な情報なし。 ただし、溶接、溶断等にもなうヒュームや研削等による微粉は呼吸器、 目他の粘膜を刺激する場合があります、アークは火傷を起こす場合がある。 また、切削屑等は皮膚を傷つける場合がある。 GHS分類:マンガンを0.1%以上含有する GHS分類:ニッケルを0.1%以上含有する GHS分類:コバルトを0.1%以上含有する GHS分類:銅を0.1%以上含有する ■健康に対する有害性 <table><tr><th>有害性</th><th>危険有害性区分</th><th>危険有害性情報</th></tr><tr><td>皮膚腐食性・刺激性</td><td>区分3</td><td>軽度の皮膚刺激</td></tr><tr><td>眼に対する重篤な損傷・眼刺激性</td><td>区分2B</td><td>眼刺激性</td></tr><tr><td>呼吸器感作性</td><td>区分1</td><td>吸入するとアレルギー、喘息 または呼吸困難を起こすおそれ</td></tr><tr><td>皮膚感作性</td><td>区分1, 区分1A</td><td>アレルギー性皮膚反応を 引き起こすおそれ</td></tr><tr><td>発がん性</td><td>区分2</td><td>発がんのおそれの疑い</td></tr><tr><td>生殖毒性</td><td>区分1B, 区分2</td><td>生殖能または胎児への 悪影響のおそれの疑い</td></tr><tr><td rowspan="2">標的臓器／全身毒性 (単回暴露)</td><td>区分1(呼吸器、消化器、腎臓)</td><td>呼吸器、消化器、腎臓の障害</td></tr><tr><td>区分3(気道刺激性)</td><td>呼吸器への刺激のおそれ</td></tr><tr><td>標的臓器／全身毒性 (反復暴露)</td><td>区分1(神経系、呼吸器)</td><td>長期または反復暴露による 神経系、呼吸器の障害</td></tr></table> ■環境有害性 <table><tr><th>有害性</th><th>危険有害性区分</th><th>危険有害性情報</th></tr><tr><td>水生環境慢性有害性</td><td>区分4</td><td>長期的影響により水生生物に有害 のおそれ</td></tr></table> ■GHS分類シンボル   ■注意喚起 危険、警告	有害性	危険有害性区分	危険有害性情報	皮膚腐食性・刺激性	区分3	軽度の皮膚刺激	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B	眼刺激性	呼吸器感作性	区分1	吸入するとアレルギー、喘息 または呼吸困難を起こすおそれ	皮膚感作性	区分1, 区分1A	アレルギー性皮膚反応を 引き起こすおそれ	発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い	生殖毒性	区分1B, 区分2	生殖能または胎児への 悪影響のおそれの疑い	標的臓器／全身毒性 (単回暴露)	区分1(呼吸器、消化器、腎臓)	呼吸器、消化器、腎臓の障害	区分3(気道刺激性)	呼吸器への刺激のおそれ	標的臓器／全身毒性 (反復暴露)	区分1(神経系、呼吸器)	長期または反復暴露による 神経系、呼吸器の障害	有害性	危険有害性区分	危険有害性情報	水生環境慢性有害性	区分4	長期的影響により水生生物に有害 のおそれ
有害性	危険有害性区分	危険有害性情報																																		
皮膚腐食性・刺激性	区分3	軽度の皮膚刺激																																		
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B	眼刺激性																																		
呼吸器感作性	区分1	吸入するとアレルギー、喘息 または呼吸困難を起こすおそれ																																		
皮膚感作性	区分1, 区分1A	アレルギー性皮膚反応を 引き起こすおそれ																																		
発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い																																		
生殖毒性	区分1B, 区分2	生殖能または胎児への 悪影響のおそれの疑い																																		
標的臓器／全身毒性 (単回暴露)	区分1(呼吸器、消化器、腎臓)	呼吸器、消化器、腎臓の障害																																		
	区分3(気道刺激性)	呼吸器への刺激のおそれ																																		
標的臓器／全身毒性 (反復暴露)	区分1(神経系、呼吸器)	長期または反復暴露による 神経系、呼吸器の障害																																		
有害性	危険有害性区分	危険有害性情報																																		
水生環境慢性有害性	区分4	長期的影響により水生生物に有害 のおそれ																																		

3. 組成及び成分情報	単体/混合物区分		混合物(合金)		
	主な成分	成分	濃度(%)	CAS番号	
		マンガン(Mn)	≤1.0	7439-96-5	
		ニッケル(Ni)	28.0~38.0	7440-02-0	
		コバルト(Co)	0.5~16.0	7440-48-4	
		銅(Cu)	≤3.0	7440-50-8	
注記 成分濃度の詳細については規格または検査証明書にて確認して下さい					
4. 応急措置	必要な応急処置の後、必要に応じて医師の診断を受ける。下記は、応急処置の例である。 ・微粉などにより呼吸困難を起こした場合は、呼吸補助をし、速やかに医師の診断を受ける。 ・微粉などが粘膜を刺激する場合は、水で洗い流し、速やかに医師の診断を受ける。				
5. 火災時の措置	消火剤： 特殊粉末消火剤、乾燥砂等 金属火災では、密閉法、窒息消火が望ましい。				
6. 漏出時の措置	一般的な環境下では、固体は漏出ししない。				
7. 取扱い及び保管上の注意	取扱い： ヒューム、微粉等が目に入ったり、吸い込んだりしない様に注意する。 保管： 雨水に濡らさないよう注意する。また酸、アルカリ、強力な酸化剤、塩化物等の化学物質と接触して保管してはならない。 保管場所は平坦な場所とする。傾斜している場合に段積みすると、荷崩れを生じる可能性があり安全上も危険である。				
8. 暴露防止及び保護措置	粉じん、ヒュームが発生するときは、換気装置の設備対策及び保護具着用を実施すること。				
9. 物理的及び化学的性質	物理的状態： 一般的な環境下では銀白色の固体。 発火性： 特になし。 化学的性質： 融点：1400~1460℃ 密度：約8.0~8.3g/cm ³ 酸化性： 通常雰囲気では緩やかな反応で自然酸化し、概ね安定である。 事故反応性： 特になし。 粉塵爆発性： 粉塵状態になると爆発しやすい。特に放電源がある場合には危険である。				
10. 安定性及び反応性	一般的な環境下では安定しており、反応性は小さい。ただし、酸などとの接触により反応生成物を生じ、水素の発生をともなうことがある。 微粉は酸素と反応し燃焼、爆発(粉塵爆発)を起こす場合がある。				
11. 有害性情報		[Mn]	[Ni]	[Co]	[Cu]
	急性毒性				
	皮膚腐食性・刺激性	区分3			
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B			
	呼吸器感受性		区分1	区分1	
	皮膚感受性		区分1	区分1	区分1A
	生殖細胞変異原性				
	発がん性		区分2	区分2	
	生殖毒性	区分1B		区分2	
	標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分1	区分1	区分3	区分1,3
	標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分1	区分1	区分1	
	吸引性呼吸記有害性				
注記 記入なしは区分外又は分類できないことを意味する。					
12. 環境影響情報		[Mn]	[Ni]	[Co]	[Cu]
	生態毒性				
	残留性・分解性				
	生態蓄積性				
	土壌中の移動性				
	オゾン層への有害性				
	水生環境有害性	区分4	区分4	区分4	区分4
	注記 記入なしは区分外又は分類できないことを意味する。				

13. 廃棄上の注意	金属として回収し、再利用する。 ただし、廃棄する場合には法的な許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
14. 輸送上の注意	重量物である場合は、荷崩れのないようにし、転倒、落下、衝撃など粗暴な取り扱いを避ける。
15. 適用法令	・労働安全衛生法 ・労働基準法 ・化学物質排出把握管理促進法
16. その他の情報	なし

本データシートは、作成時点弊社で入手できるデータに基づいて「参考情報」として取り扱い事業者にご提供するものです。取扱事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要です。従って、本データシートは、製品の安全を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。

参考: JIS Z 7253-2012